

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	医療英語		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	橋本 美喜男				専任兼任の別	兼任
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	医療専門職として必要な基礎的英語能力を身につける。					
到達目標	1) 視能訓練士として外国人と基本的な英会話ができる。 2) 身体の各部分の名称や主な病気や症状を英語で表現でき、説明できる。					
授業計画	1. Introduction 2. Body Parts 3. Musculoskeletal System 4. Cardiovascular System 5. Respiratory System 6. Digestive System 7. Brain, Nervous System and Sensory System 8. Urinary System 9. Reproductive System 10. Endocrine System 11. Mental Disorders 12. Cancer 13. BLS and ALS 14. Rehabilitation 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	各講義での小テスト 単位認定テスト					
テキスト	井上真紀 他 (2021) Because We Care, Second Edition – English for Healthcare Professional, センゲージラーニング株式会社.					
参考図書						
備考・特色						

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	医療統計学		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	田野上 恭子 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	生理光学, 視覚生理学等の専門科目を理解するために必要な基礎数学を補修する。 また, 医学分野における統計学の必要性を理解し, 基礎知識を修得する。					
到達目標	公務員試験の教養科目／数的推理 (初級) レベルの知識を理解する。 医学論文を読むために必要な統計の解釈の仕方を理解する。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入, 確認テスト 2. 数と計算の基本 (整数, 小数, 分数の計算) 3. 累乗・平方根・数の表記方法 4. 式の変形 5. 割合・比・三角比 6. 対数 7. 有効数字, 生理光学分野の演習 8. 中間まとめ (確認①), 医療統計の基礎 9. 医学統計の基礎 10. 統計処理の基本 (P 値, 信頼区間) 11. 統計処理の基本 (平均, 散らばり・分布) 12. 統計処理の基本 (相関と回帰) 13. 統計処理の基本 (検査特性) 14. 統計処理の基本 (結果の読み取り方) 演習問題 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記)					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色						

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	生命倫理学		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1年 前期	2単位 30時間		主たる授業方法	講義
担当者	西 英久			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	「私は何をなすべきか」という倫理学の根本問題が医療現場において、いかに考えられているかを解説します。本講義は、医療における倫理的問題をただ理解するだけでなく、自らの現実問題として考え直して見ることを目指しています。					
到達目標	哲学的人間学の把握を前提としながら、倫理学の諸問題を具体的・現実的に理解することを目標とします。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 哲学的人間学 2. 英米の倫理学 3. 英米の生命倫理 4. 独仏の生命倫理学 5. 臨床の倫理学 臓器移植 6. 生体での臓器移植 7. 創薬と育薬 8. パーソン論 9. 生殖技術 10. 出生前診断 11. 着床前診断 12. 人工妊娠中絶 13. 安楽死 14. 尊厳死 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	試験（80%）、発表等（20%）					
テキスト	講義資料を配付します。					
参考図書	講義中に紹介します。					
備考・特色						

基本情報	科目名	人間関係論		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	四童子 龍子			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人々と仕事をしていく上で必要な基礎力の育成。主に論理的に考え、思考する力を高める。 ・ストレスについて理解し、自身をコントロールする必要性ややり方を知る。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な思考を身につけ最終的に 800 字程度の小論文を書く事ができるようになる。 ・論理的な思考に基づいた自らの体験や意見を短くまとめアウトプットできる。それらの要点を絞って聞きながらメモにすることができる。 ・ストレスについて理解を深め、自分なりの対応をとることができるようになる。 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション「社会の中で必要な力」を理解し、現在の自己分析をする。 2. 論理的な思考力の基礎知識を学び、身につける 1 3. 論理的な思考力の基礎知識を学び、身につける 2 4. 論理的な思考力の基礎知識を学び、身につける 3 5. 論理的な思考力の応用 1 6. 論理的な思考力の応用 2 7. これまで理解した知識を基に 200 字程度の文を書く。 8. これまで理解した知識を基に小論文を書く。 9. これまで理解した知識を基に小論文を書く。 10. 与えられたテーマを自らの体験や意見を交え短い文章にまとめ、それをアウトプットする。 11. それぞれが「書いた」短い文章を基に「聞く」「メモする」活動に取り組む。 12. グループワークで普段使う言葉の言い換えをみつけ、語彙を増やす。 13. 社会の中で必要な言葉の言い回しを身につける。 14. ストレスについて理解し、対応を知る。 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）10 割 試験 60 点以上を合格 小論文を含む					
テキスト	講義に合わせて資料を作成。					
参考図書	『ふくしま式 200 字メセッドで「書く力」は驚くほど伸びる！』福嶋隆史 2013 年 大和出版 『論理的思考力を鍛える超シンプルトレーニング』福嶋隆史 2010 年 明治図書 『声に出して読みたい日本語』斎藤孝 2001 年 草思社 『ワークショップ人間関係の心理学』藤本忠明・東正訓編 2004 年 ナカニシヤ出版他					
備考・特色	主体的な活動を多く入れます。グループワークなどの相互の意見や知識を取り入れる活動を入れます。					

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	キャリアデザイン論		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	光法 真帆			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	社会人としてのビジネスマナーを学ぶ 眼科医療機関で実際に視能訓練士が働いている場面を見学し、将来の目標を設定する					
到達目標	理想とする視能訓練士像を明確にする					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 概要, 二択漢字, 自己推薦書, 志望理由書 2. 履歴書 3. 接遇 4. 手紙 5. 電話 6. 面接 7. 面接 8. 小論文, レポート, スピーチ 9. 小論文, レポート, スピーチ 10. 小論文, レポート, スピーチ 11. 単位認定試験 12. 視能訓練士のキャリアデザインについて 13. 眼科医療機関の見学実習のオリエンテーション 14. 眼科医療機関の見学実習 15. 振り返りと将来の目標設定 					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記)					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色	A4, B5 のポケットファイルを準備してください					

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	多職種連携学		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1 年 前期	1 単位 15 時間	主たる授業方法	講義, 演習	
担当者	田野上 恭子 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	この授業は、多職種連携について 2 年次保健医療福祉学 II とパッケージとして段階的に実施します。1 年次は初段階として、良好な対人関係を築くためのコミュニケーションの在り方、価値観の共有と葛藤についてグループワークと成果発表を行います。					
到達目標	医療専門職を志す学生がそれぞれの専門職性について相互に学ぶ体験を通じて、医療における自己の専門職性の役割を理解し、将来の医療連携の展望や連携に必要な「力」を育むことを目標とします					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業説明, 導入 2. アイスブレイキングワーク コミュニケーションについて 3. グループワーク 他者に与える「印象」と「自己覚知」についての考察 4. グループワーク (コンセンサスゲーム) アサーションとコンフリクト 5. ワーク 6. ワーク 7. ワーク 8. グループ発表 					
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価はグループでの成果発表を採点し成績とします。 ・成績は 90 点以上を S、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C として「合格」とします。60 点未満は D として「不合格」とします。 					
テキスト	なし					
参考図書	「リハベシック コミュニケーション論・多職種連携論」(医歯薬出版株式会社) (検査さんの新しくできる本)					
備考・特色	この授業では、授業全体をグループワーク中心に進めます。 皆さんの主体性を持った授業参加を期待します。					

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	基礎医療科学		分野	基礎	
				教育内容	科学的思考の基盤／人間と生活	
	開講期	1年 前期	2単位 30時間		主たる授業方法	講義
担当者	佐藤千鶴（視能訓練士）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略） 視能訓練士として病院での臨床経験を持つ。			
授業概要	身体の構造と機能を学ぶ。					
到達目標	身体の基本構造や、各組織の働きを理解する。					
授業計画	1. 細胞（細胞と組織） 2. 細胞（構造と働き） 3. 細胞（組織） 4. 細胞（血液） 5. 細胞（血液） 6. 呼吸器 7. 循環器 8. 中間まとめ 9. 消化器 10. 泌尿器・生殖器・内分泌器 11. 内分泌器 12. 神経 13. 神経 14. 遺伝 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）を実施し、60点以上を合格とする。					
テキスト	目でみるからだのメカニズム（医学書院） 視能学第3版（文光堂）					
参考図書	まるわかり基礎生物（南山堂）					
備考・特色						

基本情報	科目名	発達心理学 I		分野	専門基礎	
				教育内容	人体の構造と機能及び心身の発達	
	開講期	1年 前期	2単位 30時間		主たる授業方法	講義
担当者	麻生 良太			専任兼任の別	兼任	
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	対人援助職に就くものは、人間の心理やそれに基づく行動についての深い理解が求められる。本授業では、心理学の基礎、特に発達心理学の胎児期～学童期について学ぶとともに、それが実生活でどのような行動として表れているかを考えることを通して、適切な対人援助を希求する姿勢を涵養することを目的とする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・胎児期～学童期の人間の心理について、基礎的な心の仕組みを発達の視点から理解することができる。 ・胎児期～学童期の人間の行動について、発達心理学的な視点から理解し適切な対応等について考えることができる。 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達心理学とは（概説） 2. 発達の諸理論 3. 胎生期の発達と環境 4. 脳とからだの発達 5. 感情の発達 6. 動機づけの発達 7. 中間試験 8. 自己とパーソナリティの発達 9. 言語の発達 10. 認知の発達 11. 愛着の発達 12. 人間関係の発達 13. 社会性・道徳性の発達 14. 心理的発達の過程における障害 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	中間試験（50%）、単位認定試験（50%）					
テキスト	ライブラリ 心理学を学ぶ5 発達と老いの心理学（サイエンス社）					
参考図書						
備考・特色	授業をただ聞くだけでなく、自分のこととして考える姿勢や、対人援助者の立場で授業内容をとらえ、実際どのように行動すべきかを考えることを求めます。					

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視能学概論		分野	専門基礎	
				教育内容	視覚機能の基礎と検査機器	
	開講期	1 年 前期	1 単位 15 時間		主たる授業方法	講義
担当者	御幡 美紀 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 病院に勤務し眼科一般検査を有している			
授業概要	視覚系の構造・機能、視覚生理学の基礎と形態覚について履修する					
到達目標	1. 視覚系の構造について理解し、基本的知識を習得する 2. 視覚生理学の基礎を学び形態覚を理解する					
授業計画	1. 眼球と眼球付属器、視覚伝導路 2. 視覚情報の基本と機能 3. 視覚生理学の基礎 4. 視力① (視覚の成り立ち、形態覚) 5. 視力② (評価方法、視力の種類) 6. 視力③ (視力検査の種類とその特徴) 7. 視力④ (視力に影響する因子、コントラスト視力) 8. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	視能学／第 3 版 (文光堂)、視能訓練学／第 2 版 (医学書院)、現代の眼科学／改定第 13 版 (金原出版)					
参考図書	随時配付資料					
備考・特色						

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	レンズ光学 I		分野	専門基礎	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		教育内容	視覚機能の基礎と検査器機
担当者	藤井 弘也				専任兼任の別	兼任
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	光と光学機器についての幾何学的・物理的原理と機能および眼の光学的な機能および眼の光学的検査・矯正機器の基礎について学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視能訓練士の業務を行う上で重要なレンズを中心としたレンズ光学の基礎を理解する。 ・ 光の性質について、その特徴を述べることができる。 ・ レンズやプリズムなどの光学機器についての性質について作図，計算を使って説明することができる 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 光の性質・波としての光 2. 幾何光学（レンズのしくみと像のでき方） 3. 幾何光学（バージェンスとプリズム） 4. レンズの種類と特長（凹・凸レンズ） 5. レンズの種類と特長（球面・円柱・トーリックレンズ） 6. ミラー（凹・凸面鏡による像のでき方） 7. 収差 8. コーティング・フィルタ 9. 光安全性とレーザー光学 10. 波動光学（偏光・回折） 11. 波動光学（干渉）・粒としての光 12. 眼球光学・矯正の光学 13. 視力検査・コントラスト感度検査 14. 他覚的屈折検査・眼底検査・視野検査・色覚検査 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）10割，期末試験平均 60 点以上を合格とします。					
テキスト	出版社：医学書院 視能学エキスパート 光学・眼鏡（第2版） 著者：松本富美子他					
参考図書						
備考・特色						

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	レンズ光学Ⅱ		分野	専門基礎	
				教育内容	視覚機能の基礎と検査機器	
	開講期	1 年 前期	1 単位 15 時間		主たる授業方法	講義
担当者	御幡美紀（視能訓練士）				専任兼任の別	専任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略） 病院に勤務し眼科一般検査の経験を有している			
授業概要	基本的なレンズの知識を学ぶ					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・レンズの特徴を理解する ・レンズの表記、書き換えを習得する 					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. レンズの種類・表記について 2. 〃 3. レンズの書き換え 4. 〃 5. 眼鏡レンズについて 6. 〃 7. まとめ 8. 単位認定試験 					
成績評価の方法	単位認定試験（筆記）にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	光学・眼鏡／第 2 版（医学書院）、理解を深めよう視力検査 屈折検査（金原出版）、屈折異常とその矯正／改訂第 7 版（金原出版）、視能学／第 3 版（文光堂）					
参考図書						
備考・特色						

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	基礎視能矯正学 I		分野	専門分野	
				教育内容	基礎視能矯正学	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	大塚美和子（視能訓練士）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	正常両眼視機能を理解し説明ができるようにする 両眼視機能の異常を概念的に理解する					
到達目標	両眼でそれぞれ受け入れた感覚を統合して生じた見え方を図などを用いて説明できるようにする					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 両眼視機能の体験（同時視・融像・立体視・複視） 2. 両眼視機能の定義と正常両眼視機能（実際空間と視空間、網膜対応） 3. 正常両眼視機能（ホロプテル円、Panum の融像感覚圏） 4. 正常両眼視機能（同時視・融像・深径覚） 5. 正常両眼視機能（静的立体視・動的立体視・抑制） 6. 両眼視機能の発達、両眼視機能の成立条件 7. 中間まとめ、両眼視機能の異常（抑制・混乱視・複視） 8. 両眼視機能の異常（網膜対応異常） 9. 両眼視機能の異常（網膜対応異常） 10. 両眼視機能の異常（網膜対応異常） 11. 抑制と異常対応の関係 12. 両眼視機能の異常（複視の種類） 13. 両眼視機能の異常（複視の種類） 14. 試験対策 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	中間まとめ（筆記）4 割、単位認定試験（筆記）6 割とする					
テキスト	視能学／第 3 版（文光堂），視能訓練学／第 2 版（医学書院）					
参考図書	視能学／増補版（文光堂），視能矯正学／改定第 3 版（金原出版），両眼視（金原出版）					
備考・特色	講義の中でその都度練習問題を解きながら理解を深めていく。					

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	基礎視能矯正学 II		分野	専門	
				教育内容	基礎視能矯正学	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	正 鮎美 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	眼位および両眼視の成立と眼球運動の関わりを理解する。また、斜視の定義・病因論および分類について学習する。2 年次の視能矯正学各論，視能矯正学実習の内容の根幹であるため，確実に理解することが重要である。					
到達目標	① 外眼筋の作用と眼球運動について説明できる。 ② 外眼筋の生理学について説明できる。 ③ 眼位の基本的理念について説明できる。					
授業計画	1. 眼位の定義・種類・状態 2. 斜視の定義・病態 3. 斜視の病因論 4. 斜視の分類 5. 斜視の分類 6. 習熟度確認 7. 外眼筋の解剖・走行 8. 外眼筋の作用と神経支配 9. 単眼運動について 10. 単眼運動について 11. 両眼運動について 12. 共同筋 13. 拮抗筋 14. 眼球運動の種類と制御機構・眼球運動障害 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	習熟度確認 50 点・単位認定試験 (筆記) 50 点					
テキスト	視能学／第 3 版 (文光堂)，視能訓練学／第 2 版 (医学書院)					
参考図書	斜視と眼球運動異常 (文光堂)，神経眼科を学ぶ人のために／第 3 版 (医学書院)					
備考・特色						

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	生理光学 I		分野	専門	
				教育内容	基礎視能矯正学	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	佐藤 千鶴 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 視能訓練士として病院での臨床経験を持つ。			
授業概要	屈折と調節の光学を理解する。					
到達目標	1) 屈折の光学と調節の光学を理解する。 2) 屈折検査と調節検査ができるように知識を深める。					
授業計画	1. 眼球光学系 (屈折力, 眼の光軸と視軸, 収差) 2. 屈折の光学 3. 屈折の異常 (近視) (遠視) 4. 屈折の異常 (乱視) 5. 屈折の異常 (乱視) 6. 遠見の自覚的屈折検査 (レンズ交換法①) 7. 遠見の自覚的屈折検査 (レンズ交換法②) 8. 遠見の自覚的屈折検査 (放射線乱視表を用いた乱視の測定方法①) 9. 遠見の自覚的屈折検査 (クロスシリンダーを用いた乱視の測定方法①) 10. 不同視, 不等像視, 無水晶体眼, 老視 11. 調節の光学, 調節の異常 12. 調節力 13. 近見の自覚的屈折検査, 自覚的調節検査 14. 他覚的調節検査, アコモドタイム 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記) を実施し, 60 点以上を合格とする。					
テキスト	理解を深めよう 視力検査 屈折検査 (金原出版), 視能学 / 第 3 版 (文光堂)					
参考図書						
備考・特色						

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	生理光学演習 I		分野	専門
				教育内容	基礎視能矯正学
	開講期	1 年 前期	1 単位 30 時間	主たる授業方法	演習
担当者	佐藤 千鶴 (視能訓練士)			専任兼任の別	専任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 視能訓練士として病院での臨床経験を持つ。		
授業概要	生理光学 I の内容を理解した上で正確な自覚的屈折検査と調節検査ができるようになる。				
到達目標	1) 自覚的屈折検査が正確にできるようになる。 2) 調節検査が正確にできるようになる。				
授業計画	1. 遠見の自覚的屈折検査 (レンズ交換法③) 2. 演習 3. 演習 4. 遠見の自覚的屈折検査 (放射線乱視表を用いた乱視の測定方法②) 5. 遠見の自覚的屈折検査 (放射線乱視表を用いた乱視の測定方法③) 6. 演習 7. 演習 8. 遠見の自覚的屈折検査 (クロスシリンダーを用いた乱視の測定方法②) 9. 演習 10. 演習 11. 演習 12. 演習 13. 演習 (実技試験) 14. 演習 (実技試験) 15. 単位認定試験				
成績評価の方法	実技試験を 50 点, 筆記試験を 40 点, レポートを 10 点とし 60 点以上を合格とする。				
テキスト	理解を深めよう 視力検査 屈折検査 (金原出版), 視能学 / 第 3 版 (文光堂) 視能検査学 / 第 2 版 (医学書院)				
参考図書					
備考・特色					

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視覚生理学 I		分野	専門	
				教育内容	視能検査学	
	開講期	1 年 前期	1 単位 15 時間		主たる授業方法	講義
担当者	御幡 美紀 (視能訓練士)				専任兼任の別	専任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 病院に勤務し眼科一般検査の経験を有している			
授業概要	視野について履修し、正常視野や異常視野の障害部位を理解する					
到達目標	視野の特徴を習得し、使用目的や検査対象を理解する					
授業計画	1. 視野① (視野の概念、視覚伝導路) 2. 視野② (動的視野と静的視野、閾値) 3. 視野③ (視野検査の種類とその特徴) 4. 〃 5. 視野④ (視野に影響する因子) 6. 視野⑤ (視野異常の種類) 7. 視野⑥ (視覚伝導路の視野異常) 8. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記) にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	視能検査学 / 第 2 版 (医学書院)、理解を深めよう 視力検査 屈折検査 (金原出版)、理解を深めよう 視野検査 / 第 1 版補訂版 (金原出版)、視能学 / 第 3 版 (文光堂)					
参考図書	随時紹介					
備考・特色						

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視覚生理学演習 I		分野	専門	
				教育内容	視能検査学	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	演習
担当者	御幡 美紀 (視能訓練士)				専任兼任の別	専任
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略) 病院に勤務し眼科一般検査の経験を有している			
授業概要	視力検査、視野検査の検査方法を技術的に履修する。					
到達目標	視力、視野検査の検査方法、結果の判定、対象と目的を理解する。					
授業計画	1. 視力検査方法①② 講義 2. 視力検査①② 演習① 3. ” 4. 視野検査方法① (GP) 講義 5. ” 6. 視野検査① (GP) 演習② 7. ” 8. 視野検査② (黒板視野計、中心暗点計、対座法) 講義 9. 視野検査② 演習③ 10. ” 11. 視野検査①② 演習④ 12. ” 13. 実技試験 14. ” 15. 単位認定試験					
成績評価の方法	単位認定試験 (筆記) 6 割、実技試験 4 割の合計が 60 点以上で合格とする					
テキスト	視能検査学 / 第 2 版 (医学書院)、理解を深めよう 視力検査 屈折検査 (金原出版)、理解を深めよう 視野検査 / 第 1 版補訂版 (金原出版)、視能学 / 第 3 版 (文光堂)					
参考図書	随時紹介					
備考・特色						

2024 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視能障害学 I		分野	専門分野	
				教育内容	視能障害学	
	開講期	1 年 前期	2 単位 30 時間		主たる授業方法	講義
担当者	吉本洋平（視能訓練士，認定専任教員）			専任兼任の別	専任	
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略） 臨床にて視能障害に従事			
授業概要	主要眼疾患の基本的知識					
到達目標	視能障害の予防と治療の観点から，種々の障害を理解する。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 眼窩・眼瞼・涙器の解剖と生理 2. 〃 の病態と検査・治療 3. 角膜、結膜、強膜の解剖生理 4. 〃 の病態と検査・治療① 5. ぶどう膜の解剖生理 6. 〃 の病態と検査・治療① 7. 〃 の病態と検査・治療② 8. 中間試験 9. 網膜の解剖生理 10. 〃 の病態と検査・治療① 11. 〃 の病態と検査・治療② 12. 緑内障に関する解剖生理 13. 〃 の病態と検査・治療① 14. 〃 の病態と検査・治療② 15. 単位認定試験 					
成績評価の方法	中間テストと単位認定試験にて 60 点以上で合格とする					
テキスト	現代の眼科学／改定第 13 版（金原出版），視能学／第 3 版（文光堂），視能検査学／第 2 版（医学書院）					
参考図書	随時紹介する					
備考・特色						